

としゃレポート

2014年6月号

Eメール…toshiya@nakata-toshiya.com

発行 : 日本共産党大垣市後援会
発行日 : 2014年6月1日 第1号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
日本共産党大垣市後援会

部内資料

〈中田区域〉

江並中・南中・東中
北中・星和中・赤坂中
宇留生小・墨俣全域



「出番と居場所のある街を」 改めまして、中田としゃです。

今月から「トヨ子通信」を引き継ぎ、さらに私、中田としゃの「若者目線」から大垣市行政情報を発信していきます。

一つ一つの政策が、誰にとっての「出番」になり得るか、誰かにとっての「居場所」になるか、「出番と居場所のあるまち」につながる政策であるか、という視点を大切にしたいと思います。



中田としゃ 27才
2005年大垣東高校卒業
2009年金沢大学法学部卒業
現在弁護士法人ぎふコラボ西濃法律事務所
で就業中。
日本共産党大垣市委員会若者・くらし
対策委員長

私は法律事務所で働き、様々な事件に関わりました。その中の一つに、大垣市議会議員グリーン車料金裁判という事件があります。実際に乗車していないのにグリーン車料金が支給されている。受け取った議員はそれを返金しようとしません。これはおかしいことではないかと思いました。この事件については「トヨ子通信」でも取り上げていますが、引き続き注目していきます。

「としゃレポート」 創刊によせて

来年の市議会選挙ではどうしても複数議席を取りたくて地域割をしました。中田地域には「としゃレポート」としてお送りします。議会報告など大部分の記事は「トヨ子通信」と同じです。今後とも「トヨ子通信」と同じく「としゃレポート」をご愛読くださいますようお願いいたします。

市議会議員 笹田トヨ子

多くの方にお会いして私を知っていただくことが大切だと思います。まずは育った土地にごあいさつと思い、南部後援会の方々と浅草・島里などを訪ねました。報告を寄せてもらいました。

南部後援会

中田としゃさんを案内して、 赤旗読者・支持者宅を訪問

大垣南部は 中田さんの遊び育った地

来年のいっせい地方選挙大垣市議会議員選挙で、笹田トヨ子さんに加えて、日本共産党の2議席目の獲得をめざす中田としゃ市議会立候補予定候補者は、4才から高等学校を卒業するまでの14年あまりを江並中学校校下の島里で過ごしました。

共産党南部後援会としては地元からの立候補者であり、中田としゃ氏を応援する区域の中でも中心的な役割をになうことになり、ぜひとも当選させたいと決意を新たにしています。

中田さん紹介の 訪問を始めました

地元とはいえ、近所づきあいの少なくなった現在、少しでも多くの人に中田さんを知ってもらおうと、訪問活動をはじめました。

中田としゃさんは、現在も法律事務所に勤務しており、今は休暇

をとっての活動であり、仕事の合間をぬって計画を立てなければなりません。

南部後援会では、5月13日(火)と20日(火)の2日間の、それぞれ2時間あまりずつを後援会のMさん・Oさんと中田さんの3人でおよそ50軒を訪問し、60人ほどの方々にお会いすることができました。

さわやかな笑顔で、 一人ひとりと握手!

短時間につきつぎ訪問したため、多くを話すことができませんが、お会いした方々のお子さんやお孫さんが中田さんと同世代であったりして、「ああ、中田さんの家に子どもが雨宿りさせてもらったりしていたよ」となつかしそうに声をかけていただいたりして、すこし緊張していた中田さんの表情がゆるむこともおおく、暖かく受け入れてもらえる感触がつかめました。中田さんの区域で数千人の方々に知ってもらう活動の始まりです。

集団的自衛権行使容認反対、 秘密法廃止、原発再稼働反対

もう黙っとれん1000人パレード

6月21日(土)

あなたも一緒に

歩きませんか?

安倍政権は、どんどん戦争への道、国民の自由を奪い、生命さえないがしかねない政策を進めています。秘密保護法で、国民の目、耳、口をふさぎ、一方で原発再稼働を急ごうとしています。特に集団的自衛権の行使容認に向けた動きははやく国会中に閣議決定がなされてしまう恐れもあり、「黙っていても次の世代のいのちが危ない」と1000人パレード実行委員会が結成され、参加を呼びかけています。

とき:6月21日(土)(雨天決行)

14時集会開始

14時30分パレード出発

ところ:岐阜市金公園

主催:6.21もう黙っとれん1000人

パレード実行委員会

実行委員長 河合良房(弁護士)

国民の立場で真実を伝え続ける
赤旗新聞をお読みください。
日刊紙…3497円 日曜版… 823円

黙
っ
と
れ
ん

年金削減への怒り 審査請求運動で示す

安倍政権、大企業優遇で 社会保障制度解体に導く

長いデフレ不況の中で、政府・財界が学んだことは、まずは労働者の権利を奪い賃金を下げることでした。

次に学んだことは、社会保障制度こそが国家予算を大企業のために自由に使えるようにしている邪魔な存在だということだったようです。

民主政権末期の混迷につけこんで、3党合意させた「社会保障と税の一体改革」は、働く世代を終えさまざまな社会保障制度によって高齢期を過ごそうとしている人たちの生活設計を無慈悲に押しつぶそうとしています。

高齢者の怒りを示す 年金削減不服審査請求

年金・介護・医療・・・と、高齢者にとってこれほどまでに数多くの制度改悪が同時にのしかかってきたことはかつてないことです。

高齢期を楽しく豊かに過ごすためにつどう全日本年金者組合ですが、また高齢者の生活・権利をまもる活動として年金制度の充実も訴えています。

しかし、その年金が2000年以降、物価の下落を口実にどんどん減ら

されていき、あろうことか、10年以上もまえに、高齢者の生活を配慮して下げなかった分2.5%を下げるなどと言い出し、昨年10月から引き下げはじめたのです。これは引き下げの始まりに過ぎず、その後はマクロ経済スライド(年金保険料を払う現役労働者の数と高齢者の寿命の伸びを予測して支払い可能な年金額に下げていく)が始まると、延々と引き下げが続くのです。

年金者組合では、これまでも数年にわたって議員請願・署名活動など、考えられるあらゆる方法をとってきましたが、これ以上はがまんならないとして、全国的な規模での年金引き下げ不服審査請求運動に踏み切ったのです。

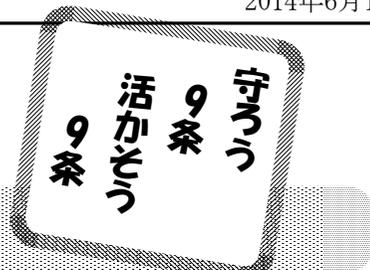
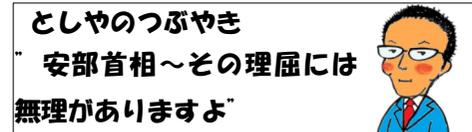
全国12万6千人、西濃 516人の審査請求を提出

1月末には、全国でもよりの地方厚生局に審査請求書が提出されましたが、その数は審査請求史上かつてない数で、高齢者の怒りの大きさが示されました。

運動開始の段階では新聞や週刊誌も大きく取り上げていましたが、提出時には、マスコミはほとんど沈黙しました。

しかし、さまざまな分野で国民

の怒りを示していくことで政治を変えていけると、今回の賛同者の多さから確信が持てました。



集団的自衛権行使で「殺し殺される」国へ

「集団的自衛権」とは、日本が攻撃されていなくても同盟国アメリカの戦争に自衛隊が参戦することです。湾岸戦争やイラク戦争の時は憲法9条に守られ、自衛隊員の血を流すことはありませんでしたが、安倍政権は憲法の解釈を変えるだけで海外に出て戦争する日本にしようとしています。

安倍政権は解釈改憲の最大の理由として尖閣諸島や北朝鮮のミサイルなど日本をとりまく「安全保障環境の変化」をあげており、「いづれ中国と戦争になるのでは」

といった市民の声も聞かれます。しかし、尖閣諸島等の問題は二国間による平和外交で解決を探るべきです。尖閣諸島や北朝鮮のミサイルを理由に「集団的自衛権」を持ち出すのは全く理屈が成り立ちません。

9条があるからこそ 平和的紛争解決ができる

「集団的自衛権」は日本が紛争状態でなくても戦争に出かけることです。元自衛隊員の人も、安倍政権の暴走に次々と反対の声を挙げています。

「日本が攻撃されてもいないのに戦争しますか。本当に正気で耐えられますか。私は絶対に嫌です。」 「米国と一緒に日本防衛と何の関係もない戦争で命をかけることは何の意味もない。自衛隊も憲法9条に守られてきた。」

日本は「非軍事」という平和のイメージで世界から信頼されています。「憲法9条の平和主義を生かした国際貢献こそ日本の強み」とアジア・アフリカでボランティア活動をしている日本のNGO(非政府組織)も訴えています。

6月議会はじまる

6月議会の会期は6月2日(月)から16日(月)までで、議案は補正予算2件、条例4件、請負契約3件、人事案件2件、など17件です。主なものは、
・大垣市副市長の選任について
・一般会計補正予算(第1号)について
教育費1億円は、宇留生小屋内運動場及び興文中技術棟改築事業に係る労務単価や資材単価の急激な上昇により、入札不調となったため建築工事費増額する。
・請負契約の締結について

クリーンセンター基幹的設備改良工事：35億1000万円 随契 (株)IHI環境エンジニアリング
浄化センター甘露本館耐震改修工事：2億7486万円 (株)TSUCHIYA
鶴見ポンプ場建設：3億326万4000円 (株)岐建

主な議会日程：
6月2日 9:30議員総会
10:00本会議(提案説明)
9日 10:00本会議(一般質問)
16日 10:00本会議



落語「憲法断」で
今や売れっ子
ハヤ亭みっ子
大垣に来る

日時:7月21日(祝)
午後1時30分開場
ところ:大垣市総合福祉開館
5階ホール
主催:日本共産党大垣市後援会
問合せ:0584-78-6865